



# 稲葉たけし通信



発行：『稲葉たけし』後援会事務所

〒270-1327 印西市大森3528-3

メール：[inaba@simin-inzai.com](mailto:inaba@simin-inzai.com)

フェイスブック：<https://www.facebook.com/inabatakeshi.inazai/> (討議資料)

稲葉たけし

検索

電話：0476-42-2747

ブログ：<http://ameblo.jp/inabainzai/>

## 第4回定例会が行われます。是非傍聴してみませんか？

11月30日(月)より印西市議会定例会が行われます。議員による一般質問は、12月1日より4日まで、それぞれの常任委員会は8日から11日かけて行われます。今年最後の定例会になります。私「稲葉たけし」も12月1日の5番目に一般質問を行います。今回は、①マイナンバーについて②18歳選挙に向けて③介護・保育一体運営について④印西市健康増進・食育推進計画について以上4件について一般質問を行う予定です。年末に向けてお忙しいとは思いますが、是非傍聴へお越し頂ければと思います。

## <マイナンバーについて(その2)>

### 「通知カード」が届いたら

いよいよ皆様元へ「マイナンバー」が記載されている「通知カード」が届けられていると思います。「これはどうしたらいいの?」と言う声が本当に多く聞こえますが、前回も記述しましたように「通知カード」は絶対に紛失しないようにして下さい。そしてマイナンバーは他人に教えないで下さい。まずは、「通知カード」が届きましたら同封されています「個人番号カード交付申請書」に、顔写真を貼付け返信用封筒に入れてポストへ投函します。またスマートフォン等を利用したWEB申請も可能ですのでご利用ください。

**注意) 「通知カード」は顔写真がない為に身分証明には使えません。業者や電話にて「通知カード」の照会等は絶対にありませんのでお気をつけください!**

## プロフィール

昭和38年11月5日(1963年)生まれ(現在51歳)

学歴：大森小学校・印西中学校・印旛高等学校卒業・日本大学卒業

職歴：ジャパンシステム株式会社勤務、富士ソフト株式会社勤務、TAKEコーポレーション株式会社設立

趣味：スキー、合唱、観劇、映画鑑賞など

\*\*\*\*\*

大森小学校PTA会長、印西中学校PTA会長(創立50周年時)、

沼南高柳高等学校保護者会会長

\*\*\*\*\*

現市議会での委員

議員改革特別委員会副委員長、文教福祉常任委員、予算審査常任委員

## 「稲葉たけし通信」のバックナンバーについて

『稲葉たけし通信』のバックナンバーをホームページより

ダウンロードできるようになりました。

パソコンの方は右のアドレスから参照、ダウンロードしてください。

<http://inabatakeshi.jimdo.com/>

またスマートフォンの方は右記のQRコードを読み取って

サイトより参照してください。



皆様のご意見、ご要望を是非お聞かせください!

# <マイナンバーについて（つづき）>

市民方々からの質問あれこれ（市民の皆様からのご質問や私自身で調べた事をまとめてみました）

Q) 「通知カード」が届かない場合

A) 受取人の不在、転送がかかっている、住民票を異動した、などの理由でお手元に届かなかったケースが考えられます。この場合の通知カードは住所地の自治体に返戻されている場合があります。通知カードは平成27年11月末までにはお手元に届く予定（※9月末現在の情報）ですので、届かなかった場合は市民課へお問い合わせください。

Q) 死亡された人の「通知カード」が届いた場合

A) 通知カードは10月5日時点の住民票の情報をもとに作成・送付されます。この前後に亡くなられた方については行き違いで通知カードが届く場合もあります。この場合、通知カードはすでに廃止状態になっていますので、お手数ですが市民課または各支所の窓口へ返却をお願いします。

Q) 通知カードを紛失した・破損した場合

A) 通知カードを再発行するか、「個人番号カード」を申請していただくようになります。通知カードの再発行は市民課または各支所で申請できます。再発行された通知カードは後日郵送で届きます。個人番号カードの申請も市民課または各支所で申請できます。カードはのちほど市民課から送付します。（窓口へとりに来ていただくケースもあります）なお、通知カードの再発行には500円かかります。個人番号カードの初回発行は無料です。

（次号につづく）

# <活動の報告>

「稲葉たけし」の活動を報告いたします。Face Book、ブログにも報告おりますのでご覧になってください。  
文教福祉常任委員会での視察に行かせて頂きました。

10月19日～21日にかけて石川県加賀市、富山県富山市、高岡市の3市に赴いて視察をさせて頂きました。

**1日目石川県加賀市**では「子育て支援事業について」①マイ保育園登録制度②子育て・親育ち事業についてをテーマに行政の取組について説明を受けました。その後、現地視察として山代子ども支援センターを伺いました。加賀市は温泉街が沢山ありますがここで生活する市民の方々の子育て事情をサポートする為の施設でした。忙しい中説明をしていただいた方はとても子どもの事、加賀市の子育ての事を考えている方でとても勉強になりました。印西市と加賀市では環境が違いますが、「印西市として考えた場合の対応についてはどうしたらいいか？」と考えながら説明を聞いていました。実際に施設にお伺いして本当に良かったと思えました。

**2日目富山県富山市**では「富山型デーサービス推進事業」について視察をさせて頂きました。近年、「幼老統合ケア」と形容されるケア実践を行う福祉施設が増加しています。老人と乳幼児が生活を共にする事で、老人、乳幼児の双方に良い効果が得られている事から「富山型デーサービス」と呼ばれています。その先駆けとなったのは、「このゆびと一まれ」です。3人の看護婦さんが退職金をはたいて1993年に富山市の閑静な住宅地に開設しました。立地されている所は、住宅地の中で一般の家の内装を少し変えたような雰囲気でした。そしてここで、説明をして頂いた方が「富山型デーサービス」を作った3人の中のおひとりの惣万佳代子（そうまんかよこ）氏でした。お会いできて本当に良かったです。どこにでもいるおばさんのような雰囲気でしたが、子供達の事、お年寄りの事を差別をなくしてみんな一緒に生活する！という熱意にとっても共感いたしました。今年、世界各地で看護に功績を残した人に贈られる「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受賞されています。印西市でもこの「富山型デーサービス」が開所できるような行政に進めて行けるように邁進していこう！と実感いたしました。

**3日目富山県高岡市**にて「発達支援ネットワーク会議」「きずな子ども発達支援センター」について担当の方より説明を受けて来ました。「発達支援ネットワーク会議」では、高岡市として発達障がいの方への取組についての経緯、概要、組織について説明を受けてきました。「きずな子ども発達支援センター」では施設の概要等の説明を受けました。この施設は、心身の発達に特別な配慮や支援が必要な子どもの為に医師、看護師、訓練師、保育士が連携して療育を行う事で、子どもの健やかな発達と自立への基礎造りを目的とした医療型児童発達支援センターです。印西市にも高花の保健福祉センター内に子ども発達センターがありますが、高岡市は行政としての取組方がとても充実していました。今後、まず印西市での取組方をしっかり勉強して、活かしていきたいと思えます。

稲葉 たけし